

評価対象年度	平成25年度	施策評価シート(震災復興用)	政策	6	施策	3
施策名			3	生涯学習・文化・スポーツ活動の充実		施策担当 部局
「宮城県震災復興計画」における体系		政策名		6	安心して学べる教育環境の確保	
					評価担当 部局 (作成担当 課室)	教育庁 (生涯学習課)
						【教育】

施策の方向 (「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」の行動方針)	<p>① 社会教育・社会体育施設の復旧と生涯学習活動の推進</p> <p>◇ 震災で被害を受けた社会教育施設の復旧を急ぐとともに、社会教育施設を核として、防災教育や地域づくり活動等のリーダー養成、被災時を想定した研修を実施するなど、地域コミュニティづくりに向けた生涯学習活動を促進する。</p> <p>◇ 社会体育施設の早期復旧を図り、健康で明るく活力に満ちた生活を送ることができるよう、県民が身近にスポーツに触れる機会を創出する。</p> <p>◇ 今回の震災を後世に伝える環境を整備するため、震災に関する図書・雑誌・映像などを収集する。</p> <p>② 被災文化財の修理・修復と地域文化の振興</p> <p>◇ 文化財の保全・保護に向け、速やかに保存管理のあり方の検討や被災した文化財調査を行い、震災で被害を受けた貴重な文化財の修理・復元や歴史・民俗資料の保全に努める。</p> <p>◇ 郷土の伝統的な文化財を県民の財産として、保存、継承し、地域文化の振興を図る。</p> <p>◇ 文化施設の早期復旧を図るとともに、将来の地域発展を担う子どもたちの創造性を育み、コミュニティ意識の醸成や個性豊かな地域づくりを支援するため、学校や児童館、公民館など身近な場所における少人数・体験型の文化芸術事業に取り組む。</p>
---	---

決算(見込)額 (千円)	年度	平成23年度 (決算額)	平成24年度 (決算額)	平成25年度 (決算(見込)額)
	県事業費	1,751,500	1,533,664	1,680,688

※決算(見込)額は再掲分含む

目標指標等	<p>■ 達成度 A:「目標値を達成している」(達成率 100%以上) B:「目標値を達成しておらず、達成率が80%以上100%未満」 C:「目標値を達成しておらず、達成率が80%未満」 N:「実績値が把握できない等の理由で、判定できない」</p> <p>■ 達成率(%) フロー型の指標: 実績値/目標値 スtock型の指標: (実績値-初期値)/(目標値-初期値) 目標値を下回ることを目標とする指標: (初期値-実績値)/(初期値-目標値)</p>					
		初期値 (指標測定年度)	目標値 (指標測定年度)	実績値 (指標測定年度)	達成度 達成率	計画期間目標値 (指標測定年度)
	1	災害復旧工事が完了した県立社会教育施設・社会体育施設数(施設)[累計]	0施設 (0%) (平成22年度)	14施設 (93.3%) (平成25年度)	13施設 (86.7%) (平成25年度)	B 92.9%
2	被災文化財(国・県指定)の修理・修復事業補助件数(件)[累計]	0件 (0%) (平成22年度)	80件 (98.8%) (平成25年度)	78件 (96.3%) (平成25年度)	B 97.5%	80件 (98.8%) (平成25年度)

平成25年 県民意識調査	満足群の割合 (満足+やや満足)	不満群の割合 (やや不満+不満)	満足群・不満群 の割合による 区分
	35.0%	19.3%	II

※満足群・不満群の割合による区分

- I: 満足群の割合50%以上
かつ不満群の割合25%未満
- II: 「I」及び「III」以外
- III: 満足群の割合50%未満
かつ不満群の割合25%以上

■ 施策評価（原案）		概ね順調
評価の理由		
目標指標等	<ul style="list-style-type: none"> 「災害復旧工事が完了した県立社会教育施設・社会体育施設数」については、津波被害を受けた2施設を除く13施設について復旧が完了していることから、達成率が92.9%となったため、達成度は「B」と評価した。 「被災文化財(国・県指定)の修理・修復事業補助件数」については、着実に事業が進んでいることから、達成率が97.5%となったため、達成度は「B」と評価した。 	
県民意識	<ul style="list-style-type: none"> 調査結果から、高重視群が60.2%、満足群が35.0%と低く、満足度の「わからない」は45.7%と比較的高い値である。 満足群・不満足群の割合による区分は「Ⅱ」に該当する。沿岸部と内陸部の割合の差はほとんどない。 高重視群及び不満群の割合は24施策中最も低い。 	
社会経済情勢	<ul style="list-style-type: none"> 地域の復興や防災の拠点として、社会教育施設の役割が重要視されている。 震災後、防災教育に関する意識がより一層高まってきている。 東日本大震災を後世に伝えるため、震災に関する資料収集などの取組が求められている。 震災後の精神的な支えとして、また、地域コミュニティ再生の核として郷土の伝統的な文化財の果たす役割が期待されている。 	
事業の成果等	<ul style="list-style-type: none"> 「①社会教育・社会体育施設の復旧と生涯学習活動の推進」では、各施設の復旧とともに生涯学習活動も一定の成果が出ており、概ね順調に推移していると考えられる。 「②被災文化財の修理・修復と地域文化の振興」では、被災文化財の修理・修復補助事業は着実に進んでおり、また地域の文化振興事業も一定の成果が出ており、概ね順調に推移していると考えられる。 	

※ 評価の視点： 目標指標等、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策に期待される成果を発現させることができたかという視点で、総合的に施策の成果を評価する。

施策を推進する上での課題と対応方針（原案）	
課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> 津波で被災した松島自然の家については、全面再開までに相当な期間(平成31年度まで)を要することから、限られた資源等を活用しながら事業を実施するとともに、再建に向けた取組を着実に挙げる。 被災文化財は、有形文化財、無形文化財、名勝、記念物に及び、種類や件数が多く、被災状況が多様多様なため、修理・修復費用が多額になる。そのため未着手・継続中の文化財が存在する。 	<ul style="list-style-type: none"> 鷹来の森運動公園内にある仮事務所において、関係団体の協力を得ながら主催事業や出前事業を実施するとともに、文部科学省や地元市町村等の関係者と連携・協力しながら、施設の再建に向け計画的に整備していく。 平成25年度は自治体負担分について特別交付税措置がされており、修理・修復の大きな支えとなった。本年度も特別交付税の交付を継続して要望していく。また個人所有の文化財について、所有者負担が多額であるため修理・修復が進んでいないものには、震災復興基金の活用を進める。

評価対象年度 平成25年度

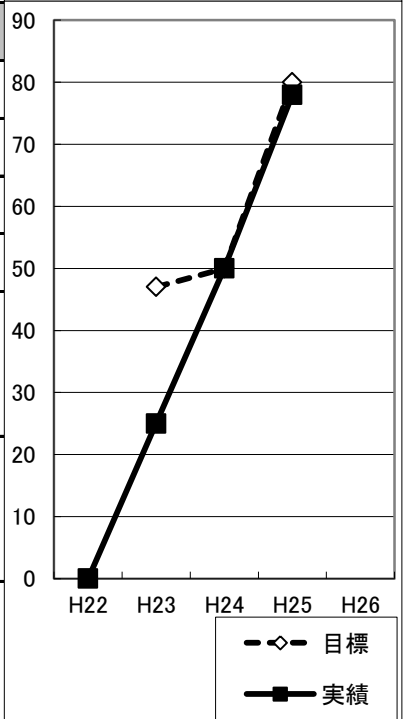
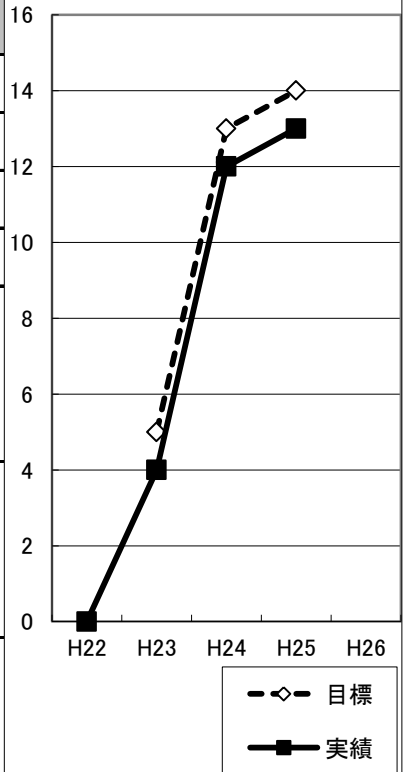
政策 6 施策 3

目標指標等の状況

■達成率(%) フロー型の指標:実績値/目標値 ストック型の指標:(実績値-初期値)/(目標値-初期値)
 目標値を下回ることを目標とする指標:(初期値-実績値)/(初期値-目標値)

1	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26
	災害復旧工事が完了した 県立社会教育施設・社会 体育施設数(施設)[累計] [ストック型の指標]	指標測定年度	H22	H23	H24	H25	H26
	目標値	-	5施設 (33.3%)	13施設 (86.7%)	14施設 (93.3%)	-	
	実績値	0施設 (0%)	4施設 (26.7%)	12施設 (80.0%)	13施設 (86.7%)	-	
	達成率	-	80.0%	92.3%	92.9%	-	
目標値の 設定根拠	・震災により被害を受けた県立社会教育施設10施設, 社会体育施設5施設の復旧完成を目標とし設定したもの。						
実績値の 分析	・社会教育施設の復旧工事については, 津波被害による2施設(松島自然の家, 志津川自然の家)を除く, 8施設の復旧が完了した。平成25年度完了予定であった志津川自然の家については, 明許繰越となったため, 目標値を下回った。 ・社会体育施設の復旧工事については, 対象となる5施設全ての復旧が完了した。						
全国平均 値や近隣 他県等と の比較	-						

2	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26
	被災文化財(国・県指定) の修理・修復事業補助件 数(件)[累計] [ストック型の指標]	指標測定年度	H22	H23	H24	H25	H26
	目標値	-	47件 (58.0%)	50件 (61.7%)	80件 (98.8%)	-	
	実績値	0件 (0%)	25件 (30.9%)	50件 (61.7%)	78件 (96.3%)	-	
	達成率	-	53.2%	100.0%	97.5%	-	
目標値の 設定根拠	・現状での文化財所有者の意向を受けて, 補助事業を要する文化財所有者に対して, 修理・修復のための環境整備や技術的問題を考慮して80件の目標値を平成24年度に設定した。						
実績値の 分析	・着実に修理・修復補助事業への着手は進んでおり, 平成27年度で全ての事業が着手される見込みである。 ・当初補助を予定していたが, 被害が軽微なものは個人負担や県費以外の補助で修理を完了させたものもある。						
全国平均 値や近隣 他県等と の比較	・岩手県の場合を参考にすると, 平成25年度末段階で補助対象件数…12件 実績値…11件(91.7%) 未着手件数…1件となっており, 全体の補助対象件数は本県より少ないが, その達成率はほぼ同様の数値となっている。						



評価対象年度 平成25年度

政策 6 施策 3

県民意識調査結果									
調査実施年度 (調査名称)			平成24年度 (平成24年県民意識調査)		平成25年度 (平成25年県民意識調査)		平成 年度 (平成 年県民意識調査)		
県 全 体	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	20.0%	57.8%	23.3%	60.2%		
		やや重要		37.8%				36.9%	
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	19.2%	24.5%	14.7%	18.6%		
		重要ではない		5.3%				3.9%	
		分からない		17.8%		21.2%			
		調査回答者数		1,916		1,961			
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	4.0%	34.5%	4.8%	35.0%		
		やや満足		30.5%				30.2%	
		やや不満	不満群 の割合	15.0%	20.1%	15.3%	19.3%		
		不 満		5.1%				4.0%	
		分からない		45.5%		45.7%			
		調査回答者数		1,898		1,952			
沿 岸 部	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	19.8%	56.1%	23.3%	57.5%		
		やや重要		36.3%				34.2%	
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	20.9%	26.2%	15.7%	19.1%		
		重要ではない		5.3%				3.4%	
		分からない		17.6%		23.4%			
		調査回答者数		788		790			
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	3.1%	30.6%	4.1%	32.7%		
		やや満足		27.5%				28.6%	
		やや不満	不満群 の割合	15.0%	21.5%	13.6%	17.9%		
		不 満		6.5%				4.3%	
		分からない		47.9%		49.5%			
		調査回答者数		774		788			
内 陸 部	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	20.2%	58.8%	23.2%	62.2%		
		やや重要		38.6%				39.0%	
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	18.0%	23.3%	14.3%	18.6%		
		重要ではない		5.3%				4.3%	
		分からない		17.9%		19.2%			
		調査回答者数		1,120		1,141			
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	4.7%	37.0%	5.0%	36.6%		
		やや満足		32.3%				31.6%	
		やや不満	不満群 の割合	15.0%	19.1%	16.3%	20.0%		
		不 満		4.1%				3.7%	
		分からない		43.9%		43.3%			
		調査回答者数		1,116		1,133			

※ 沿岸部 : 沿岸15市町
内陸部 : 沿岸部以外の市町村

評価対象年度	平成25年度
--------	--------

政策	6	施策	3
----	---	----	---

宮城県震災復興推進事業											
評価番号	事業番号	事業名	平成25年度 決算見込額 (千円)	事業の状況							
		事業主体等	特記事項	事業概要			平成25年度の実施状況・成果				
1	緊急	① 01 公立社会教育施設災害復旧事業	138,412	事業概要			平成25年度の実施状況・成果				
				震災で甚大な被害を受けた県立社会教育施設を復旧するとともに、使用が困難になった市町村の公民館等の社会教育施設の再建、復旧に対して支援する。			・津波被害による2施設を除く8施設の復旧が完了した。 ・平成25年度完了予定であった1施設は明許繰越となり、平成26年度完了予定となった。				
		教育庁 生涯学習課、文化財保護課	ビジョン 関連：取組23	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	効率的	維持	-	43,816	36,426	138,412
2	緊急	① 03 公立社会体育施設災害復旧事業	77	事業概要			平成25年度の実施状況・成果				
				震災により被害を受けた社会体育施設(総合運動公園、宮城野原公園総合運動場等)の復旧工事を行うとともに、使用が困難になった市町村の社会教育施設の再建、復旧に対して支援する。			・被災した県立体育施設5施設の復旧は終了。 ・市町村の社会体育施設の復旧に対して引き続き支援した。				
		教育庁 スポーツ健康課	ビジョン 関連：取組23	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	効率的	縮小	-	1,328,707	653,990	77
3	緊急	① 04 防災キャンプ推進事業	744	事業概要			平成25年度の実施状況・成果				
				学識経験者、行政関係者、PTA関係者等からなる地域実行委員会が地域の実情に即したプログラム内容を検討した上で、子どもと保護者及び地域住民を対象とした防災キャンプを実施するとともに、県内でその事業成果の普及を図る。			・県内2小学校区を中心としたおやじの会を実施主体として、地域コミュニティを生かした防災キャンプを実施し、227人が参加した。 ・防災意識や技能の習得だけでなく、子ども同士、大人同士の活動を通して、顔の見える関係づくりが図られた。				
		教育庁 生涯学習課	ビジョン 関連：取組33	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持	-	-	1,517	744
4	緊急	① 05 公民館等を核とした地域活動支援事業	145	事業概要			平成25年度の実施状況・成果				
				公民館等を核として住民による自主・自立の震災復興気運を醸成するため、コミュニティづくりに関する研修会を実施する。			・76人の参加者を得て研修会を実施した。 ・講演会やパネルディスカッションをとおして各地域におけるコミュニティづくりや地域づくりの方向性を学ぶことができ、今後のコミュニティづくりについての様々な働きかけの方策について考えることができた。				
		教育庁 生涯学習課	ビジョン ※取組14	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持	-	-	59	145

5	① 06	みやぎ県民大学 推進事業	3,519	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				震災からの復興に向け、地域において生涯学習活動を推進する人材の育成や、学校、社会教育施設、NPO等との連携・協力により講座を実施し、多様な学習機会を提供する。				<ul style="list-style-type: none"> ・実施講座数 48講座 ・受講者数 1,477人 ・充足率 71.9% ・前年度と比較すると、開講数が5講座減少したが、受講者数は173人増加した。特に町と共催で行われた活用出前講座において、充足率が非常に高く、震災以降徐々に学習需要が高まってきたと考えられる。 			
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
教育庁				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
生涯学習課		ビジョン 取組23		妥当	ある程度 成果が あった	概ね効率的	維持	-	2,465	2,997	3,519
6	① 07	協働教育推進総合事業	78,615	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				震災により子どもを育てる環境が大きく損なわれていることから、子育てサポーターの養成など地域全体で子どもを育てる体制の整備を図る。また、被災による生活不安や心の傷を有する親子を支援し、家庭教育の力の向上を図るため、家庭教育に関する情報提供を行う。				<ul style="list-style-type: none"> ・協働教育プラットフォーム事業(委託事業)28市町村実施 ・教育応援団事業の実施 団体190件、個人363人(大学職員) 認証・登録 ・「協働教育の推進」を具現化するための事業を行っている市町村数(29市町村) ・コーディネーター養成研修会の開催(年4回 328人受講) ・地域活動支援指導者養成研修会の開催(年4回 122人受講) ・子育てサポーター養成講座の開催(345人受講) ・子育てサポーターリーダー養成講座の開催(83人受講) ・子育てサポーター・サポーターリーダーフォローアップ講座の開催(118人受講) ・各市町村において、国の委託事業を活用することにより、財源確保の見通しが図られ、安定的に協働教育を推進することができ、地域全体で子どもを育てる気運が高まった。 			
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
教育庁		6②①再掲		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
生涯学習課		ビジョン 取組14		妥当	成果が あった	効率的	維持	-	8,854	44,521	78,615
7	① 08	広域スポーツセンター事業	9,495	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				被災者を含むすべての県民の健康増進と活力維持を図るため、地域や年齢・性別、障害の有無に関わらず、だれもがスポーツに親しめるよう、「みやぎ広域スポーツセンター」の機能の充実を図り、県民が主体的にスポーツを楽しむことができるように「総合型地域スポーツクラブ」の設立及び育成を支援する。				<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度に仙台市において2つのクラブが新設され、現在県内では43のクラブがスポーツを通じたコミュニティーの核として活動している。また、色麻町、柴田町に設立準備委員会が設立され、白石市、東松島市にも設立に向けた動きが見られる。 			
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
教育庁				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
スポーツ健康課		ビジョン 取組23		妥当	ある程度 成果が あった	効率的	維持	-	7,065	10,389	9,495

8	① 09	スポーツ選手強化対策事業	127,611	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
		本県の競技力の向上を図るため、公益財団法人宮城県体育協会等を通じて競技スポーツ選手の強化を支援する。また、被災者の活力と希望を生み出し、県民の生涯スポーツへの参画を促進するため、スポーツにおける国際大会・全国大会等で活躍できる選手の育成を支援する。				・スポーツ推進計画(平成25年度～29年度)において、国民体育大会の目標値として、総合順位10位台を維持することを目指している。平成25年度は目標順位値には及ばなかったが、総合順位は前年度から4つ上昇し21位であった。順位の上昇は5年ぶりである。東北六県の順位では、常に上位に位置する本県だが、特に冬季競技種目の獲得点が低いことが目標総合順位に達するためのひとつの課題である。					
		教育庁 スポーツ健康課	ビジョン 取組23	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	効率的	維持	-	132,084	133,715	127,611
9	① 10	運動部活動地域連携促進事業	26,549	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
		震災の影響により、児童生徒の運動する場や機会の減少をはじめ、体力・運動能力の低下など、学校における運動部活動を取り巻く環境が変化している中で、学校と地域が連携し、地域に住む優れたスポーツ指導者を「外部指導者」として活用し、運動部活動の充実及び教員の指導力向上を図る。また、被災校に対して、活動場所への移動や活動場所の確保についての支援を行う。				・外部指導者338人(中学校104校に235人、高等学校47校に103人)を派遣し、地域のスポーツ指導者を活用した運動部活動を推進するとともに、運動部活動指導者研修会を2回実施し、指導者の資質の向上に努めた。 また、東日本大震災の被災校9校(中学校2校、高等学校7校)の運動部活動に係る移動費及び施設使用料を支援した。					
		教育庁 スポーツ健康課	ビジョン 取組23	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	概ね効率的	維持	-	-	12,633	26,549
10	① 11	震災資料収集・公開事業	648,943	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
		東日本大震災を後世に伝えるため、震災に関する図書・雑誌などを収集するとともに、県図書館内にコーナーを設置し、広く県民の利用に供する。				・東日本大震災文庫(平成26年3月末現在) 図書2,478冊、雑誌953冊、視聴覚資料21点、新聞27種、チラシ類2,000点 収集・公開 ・被災地訪問やボランティア団体等との連携強化を図りながら、震災関連資料の収集を進めるとともに、市販の資料収集についても広く網羅的に行った。 ・平成26年度末公開を目指して、震災関連資料のデジタル化及びWebで公開するためのシステム構築事業を開始した。					
		教育庁 生涯学習課	ビジョン 関連:取組23	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	効率的	維持	-	2,000	2,000	648,943
11	① 12	図書館被災資料修復事業	556	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
		広く県民等への利用に供するため、震災により損傷した県図書館所蔵資料の修理修復を行う。				・被災資料の中から損傷の程度が著しく、今後も利用が見込まれるものを選別して、修理を行った。(221冊)					
		教育庁 生涯学習課	ビジョン 関連:取組23	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	効率的	廃止	-	-	-	556

年度	事業番号	事業名	事業費	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
12	① 13	志津川自然の家 洋上研修復興事業	1,000	震災による津波で流出した養殖用いかだ等の整備を行い、志津川自然の家における洋上研修の再開を図る。				・H26年度の海の活動の再開に向けて、洋上研修は欠くことのできない事業であり、海の研修活動に必要な道具の整備や準備により、活動エリアの安全確保も整備された。			
		教育庁 生涯学習課		ビジョン 関連:取組23	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)		
				妥当	成果があった	概ね効率的	廃止	-	-	-	1,000
13	① 14	松島自然の家再 建事業	121,723	松島自然の家本館及び屋外施設を再建する。				・H26年度のフィールド造成工事に伴う地権者からの用地取得が、11月議会(補正)で承認され、地権者18人との契約も予定どおりに終了した。 ・松島自然の家再建に係る懇話会では、フィールド造成関連のスケジュールやフィールド活動のプログラムについての意見交換を行った。			
		教育庁 生涯学習課		ビジョン 関連:取組23	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)		
				妥当	成果があった	概ね効率的	拡充	-	-	2,448	121,723
14	② 01	指定文化財等災 害復旧支援事業	51,698	震災により被害を受けた文化財の修理・修復を図るため、修理・修復費用に対する補助を行う。				・被災文化財所有者等と修理・修復の調整を行い、計25件の修理事業に対し補助を行った。 国指定8件 県指定8件 市指定9件(復興基金のみ)			
		教育庁 文化財保護課		ビジョン 関連:取組23	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)		
				妥当	成果があった	効率的	縮小	-	45,351	27,612	51,698
15	② 02	被災有形文化財 等保存事業	-	震災により破損した登録有形文化財(建造物・美術工芸品)を対象に、修理事業等に対する補助を行う。				・本年度は実施する事業がなかった。復旧する場所の嵩上げ工事が完成しないことや、多大な負担を必要とする事業者の資金的な側面もあり、次年度以降に事業化を計画しているため、事業者への継続的な支援を行った。			
		教育庁 文化財保護課		ビジョン 関連:取組23	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)		
				概ね妥当	ある程度成果があった	-	縮小	-	1,500	1,975	-
16	② 03	無形民俗文化財 再生支援事業	-	震災で活動母体のコミュニティが失われたり、用具が流出・損傷したりして、活動の継続が困難になった地域の祭礼行事や民俗芸能等の無形民俗文化財保持団体に対して、行事や芸能の再開を促すとともに、伝統文化の実施を通じたコミュニティ再生の一助とするために、用具等の備品の整備を支援する。				・本年度は実施する団体がなかった。事業への希望はあるが、母体となるコミュニティそのものの復興がまだ途中であることから、次年度以降に事業化を繰り延べする団体もあった。そのため次年度の事業化をめざし継続的な支援を行った。			
		教育庁 文化財保護課		1①④ 再掲 ビジョン 関連:取組23	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)		
				概ね妥当	ある程度成果があった	-	縮小	-	399	530	-

17	② 04	復興事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査事業	20,020	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
		教育庁 文化財保護課	ビジョン 関連:取組23	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	効率的	維持	-	300	16,512	20,020
18	② 05	特別名勝松島保護対策事業	775	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
		教育庁 文化財保護課	ビジョン 関連:取組23	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	効率的	維持	-	847	161	775
19	② 07	多賀城跡環境整備災害復旧事業	6,720	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
		教育庁 文化財保護課	ビジョン 関連:取組23	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	概ね効率的	廃止	-	-	11,540	6,720
20	② 08	被災ミュージアム再興事業	399,186	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
		教育庁 文化財保護課	ビジョン 関連:取組23	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	効率的	維持	-	-	324,833	399,186
21	② 10	みやぎ県民文化創造の祭典(芸術銀河)開催事業	14,900	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
		環境生活部 消費生活・文化課	ビジョン 取組23	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				概ね妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持	-	7,940	14,890	14,900

22	② 11	慶長遣欧使節出帆400年記念事業	30,000	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				平25年10月、慶長遣欧使節が石巻市月浦を出帆してから400年の節目を迎えることから、慶長遣欧使節の果たした歴史的な偉業を国内外に広く発信し未来へと引き継いでいくため、関係団体が連携して実行委員会を設立し、400年の記念事業を実施する。				・慶長遣欧使節出帆400年記念事業として、次の行事を実施した。 ・記念フォーラム(11月1日, 仙台市内) ・記念式典(11月2日, 石巻市内) ・サン・ファン・フェスティバル(11月3, 4日, 石巻市内) ・メキシコ・キューバウィーク(平成26年1月27日～2月2日)			
環境生活部		ビジョン 取組23	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
消費生活・文化課			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			概ね妥当	成果があった	概ね効率的	廃止	-	-	-	30,000	
決算(見込)額計		1,680,688									
決算(見込)額計(再掲分除き)		1,602,073									